

事故・故障等発生報告書

令 08 原機 (サ) 025
令和 8 年 6 月 25 日

茨城県知事
大井川 和彦 殿

住 所 茨城県那珂郡東海村大字村松 4 番地 3 3
事業所名 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所
氏 名 所 長 高田 千恵 (公印省略)

原子力施設周辺の安全確保及び環境保全に関する協定第 17 条の規定により、原子力施設等における事故・故障等の発生について次のとおり報告します。

発 生 年 月 日	令和 8 年 6 月 1 5 日 (月)
発 生 場 所	プルトニウム燃料第一開発室 2 階居室 (非管理区域)
件 名	プルトニウム燃料第一開発室における焦げ跡の確認 (火災) について (第 1 報)
状 況 原 因 対 策 環 境 へ の 影 響	別紙のとおり

注) 図面及びその他の説明資料を添付すること。

プルトニウム燃料第一開発室における焦げ跡の確認（火災）について

1. 状況

(1) 焦げ跡の確認状況

令和 8 年 6 月 15 日（月）、核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第一開発室（以下「Pu-1」という。）2階居室（R-210）において、テーブルタップ（以下「テーブルタップ A」という。）のプラグ、3極から2極への変換プラグ（以下「変換プラグ」という。）及び床コンセント（以下「床コンセント A」という。）の差し込み口に焦げ跡を発見した（発見時には火・煙なし）。

その後、公設消防により火災と判断されるとともに、鎮火の状態であることが確認された。

[添付資料-1、2、3]

[時系列]

- | | |
|-----------|---|
| 8 時 10 分頃 | 従業員が電気湯沸かしポットを使用するためテーブルタップ A のプラグ（変換プラグ付き）を床コンセント A に挿そうとしたところ、テーブルタップ A のプラグ、変換プラグ及び床コンセント A の差し込み口に焦げ跡を発見（火・煙なし） |
| 8 時 20 分 | 公設消防通信指令課に一般回線で連絡 |
| 8 時 50 分 | 公設消防による現場確認 |
| 9 時 37 分 | 公設消防により火災と判断、現場確認時刻の 8 時 50 分に、鎮火の状態であったことを確認 |

(2) テーブルタップ A、床コンセント A 等の使用状況

① テーブルタップ A（変換プラグ付き）

焦げ跡が確認されたテーブルタップ A（定格容量 1,500 W）には、電気湯沸かしポット（定格消費電力 910 W）及びサーキュレーター（定格消費電力 20 W）を接続していた。

テーブルタップ A のプラグは、変換プラグを取り付けた状態で焦げ跡が確認された床コンセント A（定格容量 1,500 W）に接続していた。

② 床コンセント A

床コンセント A の差し込み口は 2 口あり、テーブルタップ A（変換プラグ付き）及びノートパソコン 1 台（定格消費電力 65 W）をそれぞれ

接続していた。

③ 分電盤

床コンセント A に繋がっている上流の分電盤のブレーカー（定格容量 2,000 W）（以下「ブレーカー」という。）には、同室内のもう一つの床コンセント（以下「床コンセント B」という。）が繋がっており、別のテーブルタップ（以下「テーブルタップ B」という。）を介して 3D プリンター（定格消費電力 600 W）及びサーキュレーター（定格消費電力 20 W）を接続していた。

ブレーカーに接続されているすべての電気機器の定格消費電力は合計で 1,615 W であり、ブレーカーの定格容量以下で使用していた。

(3) 焦げ跡確認前の状況

令和 8 年 6 月 15 日（月）に予定していた Pu-1 施設全体の停電を伴う電気設備点検に備え、6 月 12 日（金）の 17 時頃から、床コンセント A 及び床コンセント B に接続しているプラグをすべて外していた。

2. 措置

ブレーカーの開放遮断を行うとともに、操作禁止の表示を行った。

[添付資料-4]

3. 原因

原因については調査中。これまでの調査状況は以下のとおり。

● 令和 8 年 6 月 15 日（月）

公設消防による現場調査時に、ブレーカーを開放遮断した上で、ブレーカー 2 次側から床コンセント A までのケーブルの調査（絶縁抵抗測定）及び床コンセント A の分解点検を行ったところ、1. (1) で確認された焦げ跡以外の異常はなかった。

● 令和 8 年 6 月 17 日（水）

公設消防による現場調査が再度実施され、以下の事実が認められた。

- ブレーカー 2 次側から床コンセント A 及び床コンセント B までの調査（絶縁抵抗測定及び線間短絡の有無）を行ったところ、異常はなかった。
- テーブルタップ A のプラグ（変換プラグ付き）の調査（絶縁抵抗測定及び線間短絡の有無）を行ったところ、異常はなかった。また、テーブルタップ A の差し込み口からプラグ（変換プラグ付

き)の刃までの導通状態を確認したところ、焦げ跡のあるプラグの刃側の導通が悪いことが認められた。

- テーブルタップ A のプラグから変換プラグを取り外して、それぞれの接触箇所の状態を目視観察したところ、テーブルタップ A のプラグの刃及び変換プラグの差し込み口に焦げ跡が確認された。
- 導通が悪い範囲を絞り込むため、テーブルタップ A のケーブルを途中で切断し、テーブルタップ A の差し込み口から切断箇所の導通状態を確認したところ、異常はなかった。切断箇所からテーブルタップ A のプラグまでの導通状態を確認したところ、焦げ跡のあるプラグの刃側の導通が悪いことが認められた。また、変換プラグについても、焦げ跡のある刃側の導通が悪いことが認められた。

[添付資料-5]

引き続きテーブルタップ A (変換プラグ付き) 及び床コンセント A の使用履歴や点検状況の調査等を行い、当該焦げ跡発生の原因を特定する。

4. 対策

今後、原因を特定した後、必要な対策及び水平展開を講じる。

5. 環境への影響等

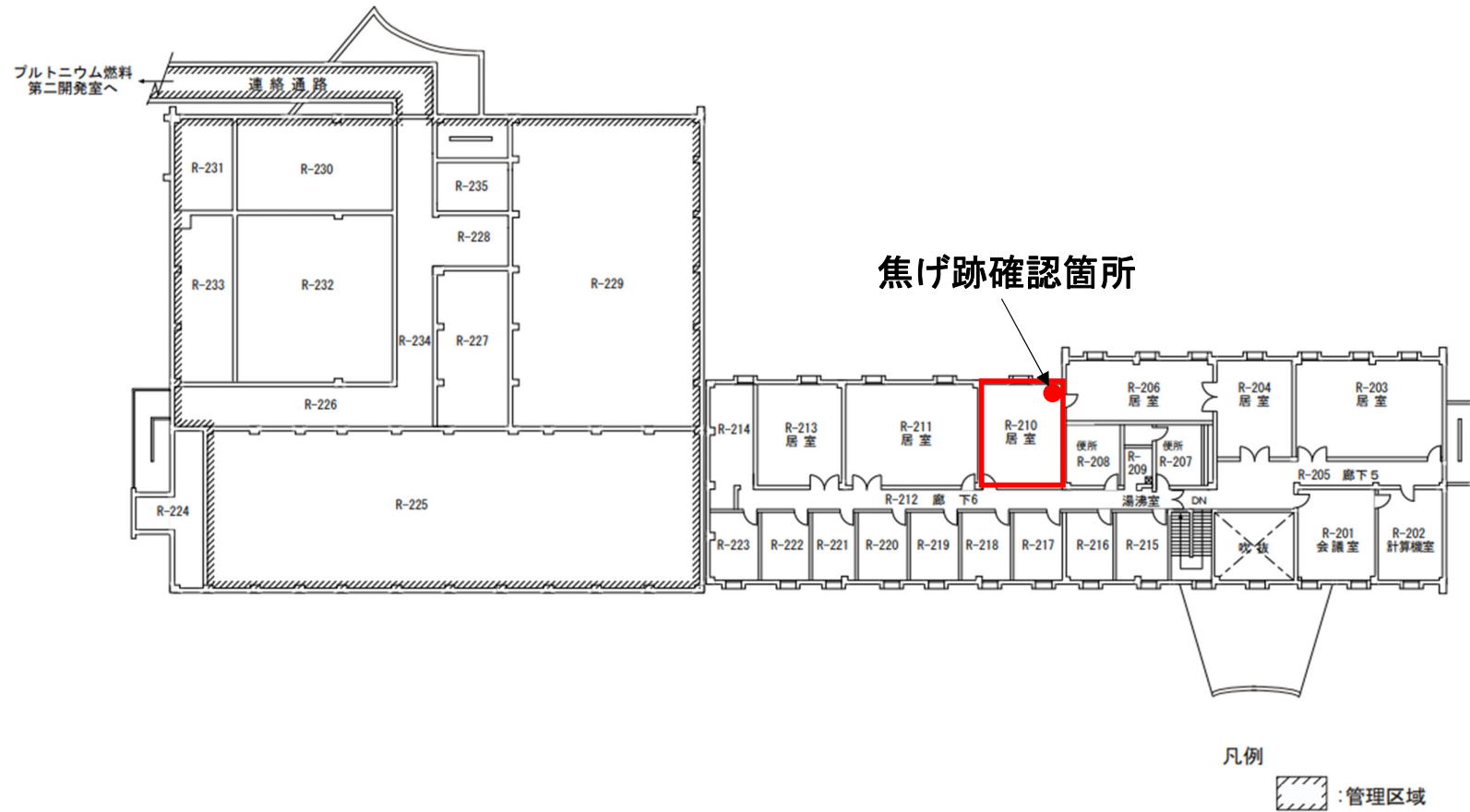
本事象に伴う周辺環境への影響及び人への障害はなかった。

[添付資料-6]

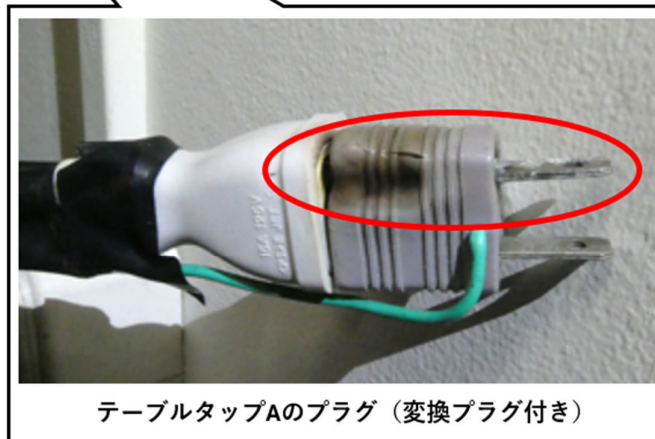
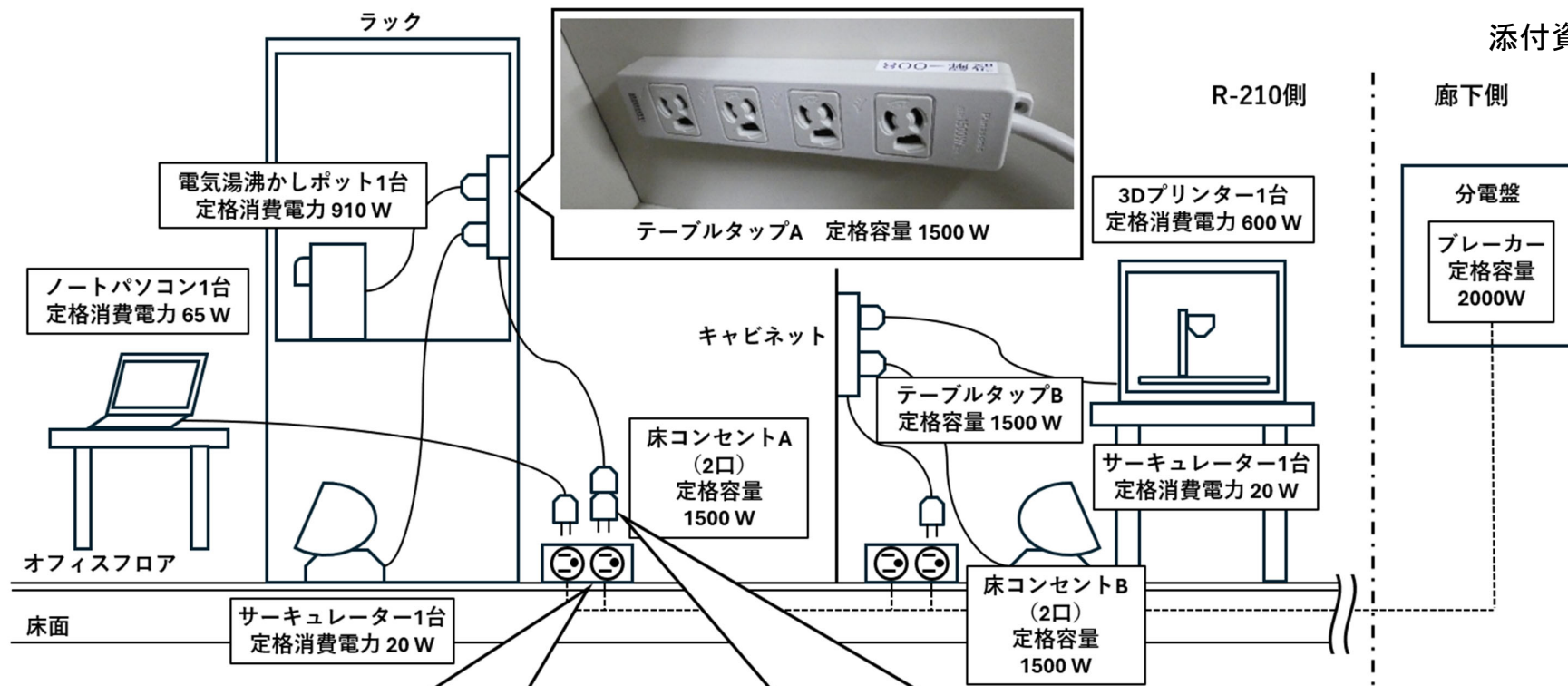
以上



核燃料サイクル工学研究所 施設配置図



プルトニウム燃料第一開発室2階平面図



○ : 焦げ跡箇所

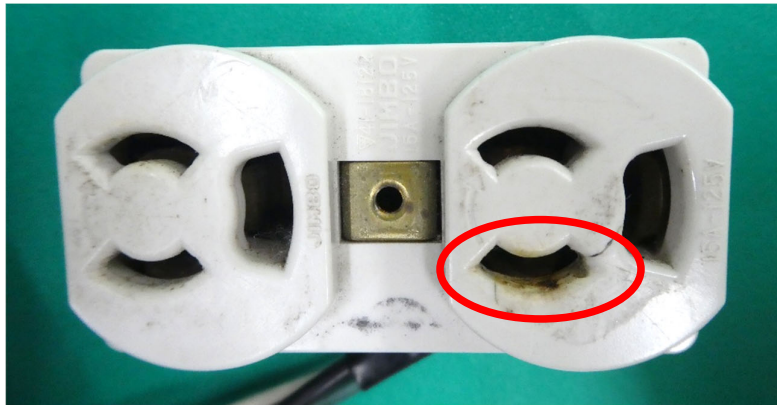
テーブルタップ、床コンセント及び電気機器の配置並びに焦げ跡の状況



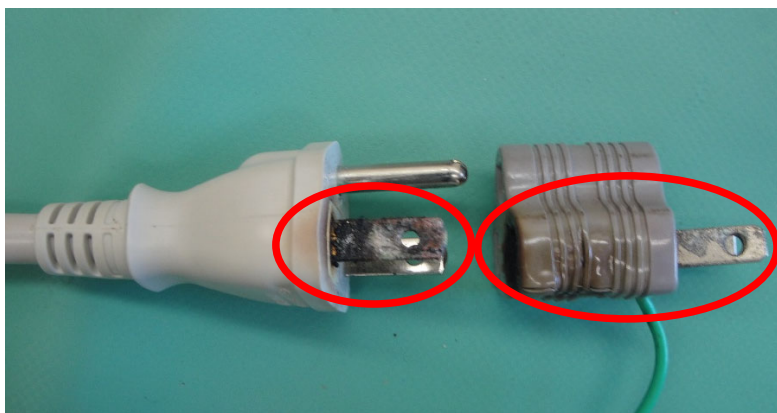
ブレーカーの開放遮断後



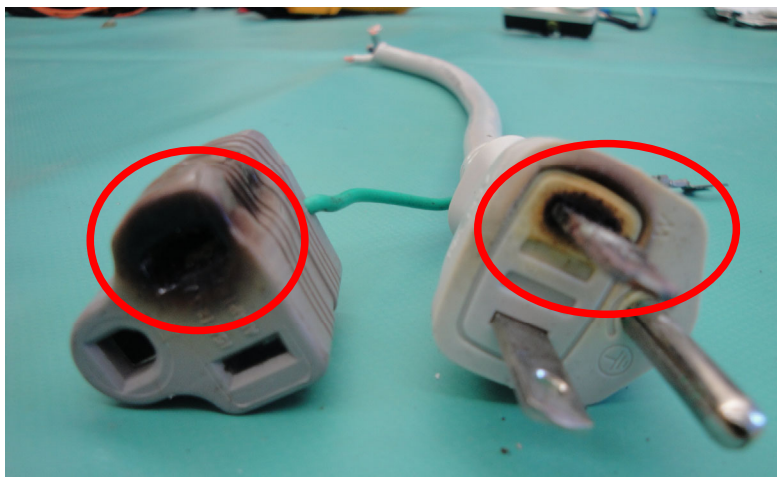
操作禁止の表示




床コンセント A の差し込み口

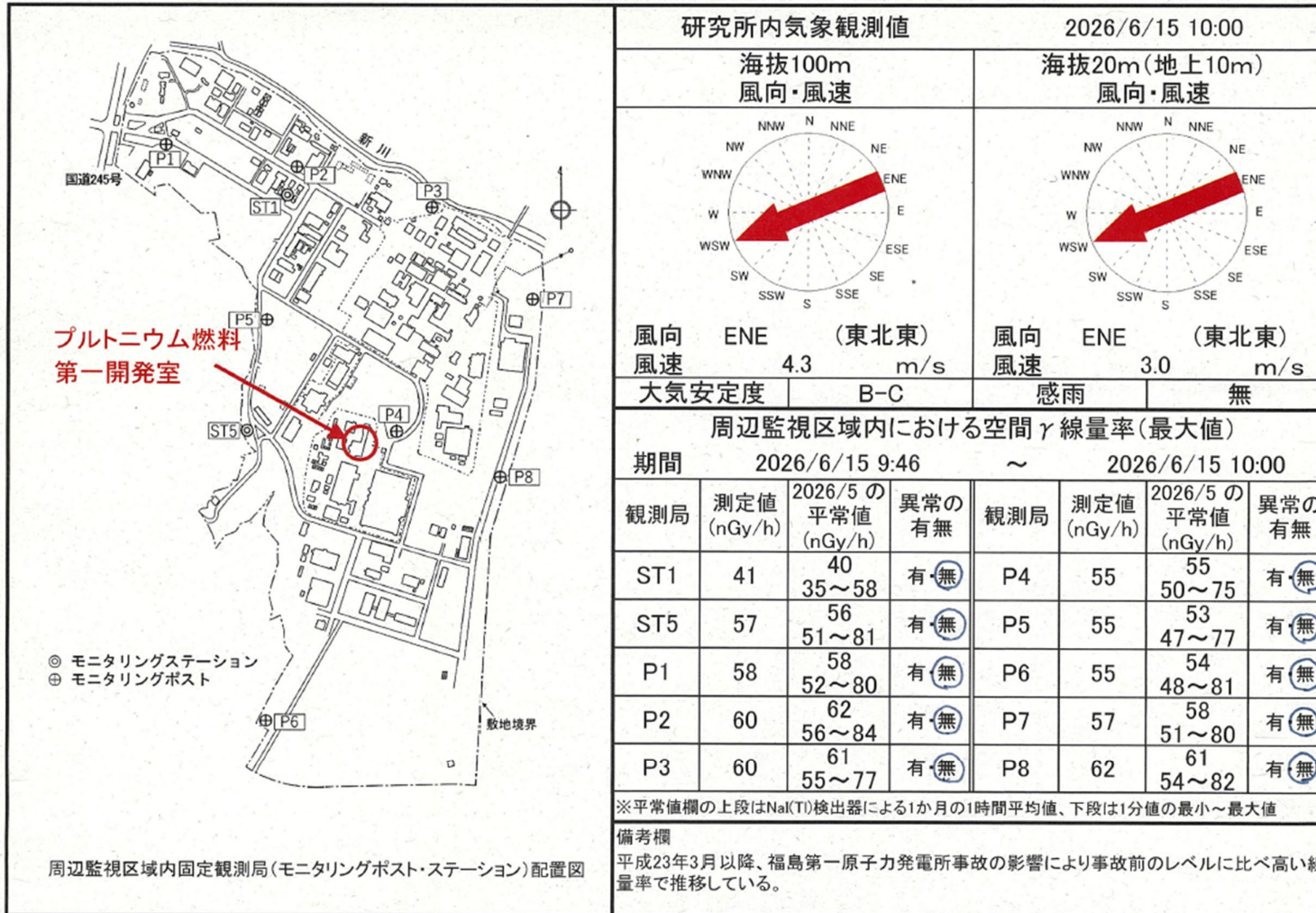


テーブルタップ A のプラグ (左) と変換プラグ (右)



変換プラグの差し込み口 (左) とテーブルタップ A のプラグ (右)

 : 焦げ跡箇所



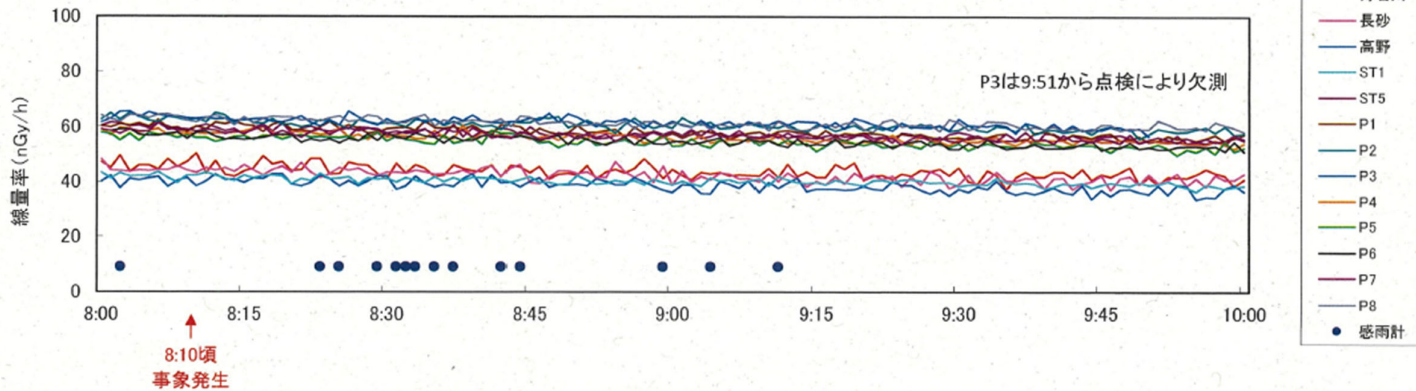
研究所内気象観測値				2026/6/15 10:00			
海拔100m 風向・風速		海拔20m(地上10m) 風向・風速					
風向	ENE (東北東)	風速	4.3 m/s	風向	ENE (東北東)	風速	3.0 m/s
大気安定度	B-C	感雨	無				
周辺監視区域内における空間γ線量率(最大値)							
期間 2026/6/15 9:46				~ 2026/6/15 10:00			
観測局	測定値 (nGy/h)	2026/5の平常値 (nGy/h)	異常の有無	観測局	測定値 (nGy/h)	2026/5の平常値 (nGy/h)	異常の有無
ST1	41	40 35~58	有・無	P4	55	55 50~75	有・無
ST5	57	56 51~81	有・無	P5	55	53 47~77	有・無
P1	58	58 52~80	有・無	P6	55	54 48~81	有・無
P2	60	62 56~84	有・無	P7	57	58 51~80	有・無
P3	60	61 55~77	有・無	P8	62	61 54~82	有・無
※平常値欄の上段はNa(Tl)検出器による1か月の1時間平均値、下段は1分値の最小~最大値							
備考欄 平成23年3月以降、福島第一原子力発電所事故の影響により事故前のレベルに比べ高い線量率で推移している。							

環境放射線情報 1/2

固定観測局(モニタリングポスト・ステーション)及び気象観測局に係る測定結果

空間γ線量率の異常の有無:(有 無) 記事:(8:00から10:00までの空間γ線量率の異常なし(P3は9:51から点検により欠測))

線量率単位 (nGy/h)	周辺監視区域外			周辺監視区域内										海拔100m		海拔20m		感雨	降水量 (mm)	大気 安定度
	ST2 (舟石川)	ST3 (長砂)	ST4 (高野)	ST1	ST5	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)			
2026/6/15 10:00	41	43	37	39	55	57	58	点検中	54	53	51	56	58	東北東	4.3	東北東	3.0		0.0	B-C
2026/6/15 9:59	39	41	39	38	57	56	57	点検中	52	51	55	57	60	東北東	4.3	東北東	3.0		0.0	B
2026/6/15 9:58	42	41	38	38	54	55	60	点検中	54	55	51	55	61	東北東	4.6	東北東	3.0		0.0	A-B
2026/6/15 9:57	43	43	35	39	55	57	58	点検中	55	50	53	55	62	東北東	4.3	東北東	3.1		0.0	B
2026/6/15 9:56	45	38	35	39	54	56	60	点検中	54	53	53	56	59	東北東	4.5	東北東	3.1		0.0	B
2026/6/15 9:55	43	41	34	37	55	55	59	点検中	54	51	53	55	60	東北東	4.4	東北東	3.1		0.0	B-C
2026/6/15 9:54	42	39	39	38	54	56	58	点検中	54	52	53	56	59	東北東	4.6	東北東	3.2		0.0	B-C
2026/6/15 9:53	42	43	39	39	57	56	58	点検中	55	50	53	54	60	東北東	4.6	東北東	3.3		0.0	B-C
2026/6/15 9:52	42	41	36	41	55	57	59	点検中	54	52	52	55	61	東北東	4.5	東北東	3.3		0.0	B-C
2026/6/15 9:51	39	40	39	39	55	55	59	点検中	55	54	52	56	62	東北東	4.6	東北東	3.2		0.0	B-C
2026/6/15 9:50	42	43	36	39	55	55	57	57	55	53	53	55	59	東北東	4.7	東北東	3.3		0.0	B-C
2026/6/15 9:49	39	39	36	40	54	56	56	60	55	52	52	54	59	北東	4.6	東北東	3.5		0.0	B-C
2026/6/15 9:48	45	42	37	39	56	56	59	59	55	53	54	57	60	東北東	4.6	東北東	3.5		0.0	B-C
2026/6/15 9:47	43	41	37	39	57	55	59	60	55	53	53	54	59	北東	4.8	東北東	3.4		0.0	B-C
2026/6/15 9:46	42	37	35	40	57	58	60	60	55	51	53	55	61	北東	4.7	東北東	3.3		0.0	B-C
上記期間での最大値	45	43	39	41	57	58	60	60	55	55	55	57	62							



【R7.7.1版】